



「結婚したら財産は誰のもの？」

[女性の権利]

私たちは、自分で手に入れたお金を財産として所有しており、それは結婚しても変わりません。しかし、アメリカ史を見てみると、驚くことに19世紀なかばまで既婚女性には財産権が認められていませんでした。たとえ結婚する時にお金を持っていたとしても、それらは全て夫の所有物とみなされたのです。しかし1830年代以降、奴隸制廃止運動などの社会運動が活発化する中、社会で活動するようになった女性が差別的な扱いを受ける場面に直面し、自分たちの権利を守るために立ち上がったのです。そして1848年、ニューヨーク州で初めて既婚女性が財産を所有する権利を認める「既婚女性財産法」が可決、その動きは他州にも波及していきます。それと同時に、男性と対等な教育を受ける権利や参政権を求める動きも活発化しました。このように、長い歴史の中で、女性は自らの権利を守るために立ち上がり、世界を変えてきました。

強く、優しく。

歴史や文化、言葉を学び、世界を深く知る。それが文学部 英語英米文化学科。